

29 年度指導方法の課題分析と具体的な改善策及び補充指導などの計画 教科 数学

学年	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充・発展指導計画
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律を重んじ、集中力が継続できるよう、聞く・書く・考える時間を区切り、メリハリのある授業展開をする。</li> <li>・授業に対する意欲、授業中の発言、ノートの書き方など基本的学習の定着を図る。</li> <li>・基礎計算に重点を置くと共に、小学校とのアプローチの違いを確認していく。</li> <li>・応用問題に対して、考える時間を確保し、適切なヒントを用意し、多くの解法を見つけさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループ活動の時間を確保し、互いの考え方を共有することで、1つの考え方だけでなく複数の考え方をもたせる。</li> <li>・机間指導や学びあいの場面を設けることで、個別対応をしていく。</li> <li>・小テストを定期的に設けていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査前の質問教室、夏季休業中の補習教室等を充実させ、補充的な指導をしていく。</li> <li>・問題演習時間に、発展的な内容の課題も用意し、個々に応じた内容の学習をさせていく。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律を重んじ、集中力が継続できるよう、一人一人が参加できる授業を展開していく。</li> <li>・基礎計算に重点を置き、各単元において、基本を徹底していくことを確認させる。</li> <li>・応用問題に対して、考える時間を確保し、適切なヒントを用意することで、より多くの解法を見つけさせる。</li> <li>・学習内容自体に興味を持たせ、成就感が味わえる授業を展開していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柔軟で幅広い考え方ができるように、多方向からの解き方を扱う。</li> <li>・個々の理解度に応じた発問を心がけ、自らの考えを述べられる機会を多く設けていく。</li> <li>・個々に指導が必要な生徒については、机間指導を行う場面を増やしたり、互いに教え合う学習が出来る場面を確保していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るだけ多くの考え方を取り上げて、柔軟な発想が出来るようにしていく。</li> <li>・特に定期考査前など、質問教室を設け、授業の補充を出来るようにする。</li> <li>・単元の導入や応用問題において、発展的な内容を扱いたい。</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律を重んじ、集中力が継続できるよう、一人一人が参加できる授業を展開していく。</li> <li>・基礎計算に重点を置き、各単元において、基本を徹底することを確認させる。</li> <li>・応用問題に対して、思考する時間を確保し、適切なヒントを用意し、多くの解法を見つけさせる。</li> <li>・学習内容自体に興味を持たせ、成就感が味わえる授業を展開していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題集、プリントを活用することにより、演習量を確保し基礎・基本の定着を図る。</li> <li>・柔軟で幅広い解を身につけるために、視点の異なる解き方を紹介する。</li> <li>・個々の理解度に応じた発問を心がけ、自らの考えを述べられる機会を多く設けていく。</li> <li>・個々に指導が必要な生徒については、机間指導を行う場面を増やしたり、互いに教え合う学習が出来る場面を確保していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るだけ多くの解法を取り上げて、柔軟な発想が出来るようにしていく。</li> <li>・特に定期考査前など、質問教室を設け、授業の補充を出来るようにする。</li> <li>・夏季休業中に、学習教室を開き、理解の不十分な生徒の基礎基本の定着を図る</li> </ul>